

青少年健全育成基金の活用の見直し

資料2-1

現行（令和4年度）
基金名：「青少年健全育成基金」

歳入	
基金運用収入	2,983千円
ふるさと納税	3,420千円
基金取り崩し	2,527千円
基金残高	約4億4千万円

<特別会計>
事業費 **5,510千円**
※他に基金積立金3,420千円あり

※金額は全て令和4年度当初予算ベース

歳出	
青少年4団体への補助金等の助成 <ボーイスカウト、ガールスカウト、スポーツ少年団、子ども会> ・青少年団体活動事業費（スポーツ指導者謝礼金、指導者保険料） 2,266千円 ・スポーツ少年団等補助金（スポーツ少年団補助金、国際大会参加補助金、ボーイスカウト・ガールスカウト・スポーツ少年団他都市交歓事業費補助金） 2,157千円 ・子ども会連絡協議会等補助金（子ども会連絡協議会補助金、子ども会他都市交歓事業費補助金） 1,087千円	事業費5,510千円

【課題点】

- ・青少年4団体以外の助成で、他の青少年団体・グループ、ユース世代への助成がなく、ユースワークの推進として十分に機能していない。
- ・ヤングケアラーや子ども食堂への支援などの今日的な課題や先駆的な取り組みに対する助成がない。
- ・支援にあたって、当事者である子どもやユース世代の声を聴けていない。

見直し後（令和5年度から）
基金名：「子ども・若者応援基金」

歳入	
基金運用収入	約500千円
ふるさと納税	約13,800千円
拡大 基金取崩	約12,000千円
事業費	約2.3倍！

一般会計化
事業費約**12,500千円**
※他に基金積立金約13,800千円あり

歳出	
新規・拡充 子ども・若者等への活動助成（団体等の活動を助成） ・ユース活動支援 若者主体で取り組む公益的な活動を助成（上限額10万円） ・子ども・若者育成支援 子ども・若者育成支援に取り組む団体の活動を助成（上限額10万円）（青少年4団体への助成を含む） ・パイロット事業 今日的な課題に関して先駆的・試行的な取組を行う団体の活動を助成（上限額50万円、原則3年）	新規 市の事業 子ども・若者に係る今日的な課題への対応や先駆的・試行的な取組 約2,000千円
事業費約10,500千円 （従来の事業費約5,510千円+新たな補助制度約5,000千円）	

【課題点を踏まえた見直しの方向性】

- ・青少年4団体のほか、ユースワークの更なる推進のため、**新たな青少年団体、ユース世代への助成**を行い、ユースワークを推進する。
- ・**今日的な課題**に関して**先駆的・試行的な取組への支援**を積極的に行う。
- ・基金活用事業の選定にあたっては、当事者である**若者の意見を聴くもの**とする。
- ・上記助成を行うことを明確にし、ふるさと納税を活用した**歳入強化も図る**とともに、**基金名称も「子ども・若者応援基金」に変更**する。
- ・基金活用事業がこれまでのように青少年4団体への補助等に限定されず、市の事業も対象としたことから、あえて特別会計で経理する必要性が薄れたため、**特別会計を廃止**する。